

ウ 計画建築物の存在による圧迫感の変化の程度

各調査地点における計画建築物の存在による圧迫感の程度は、写真 7.6-6～8 に示すとおりである。

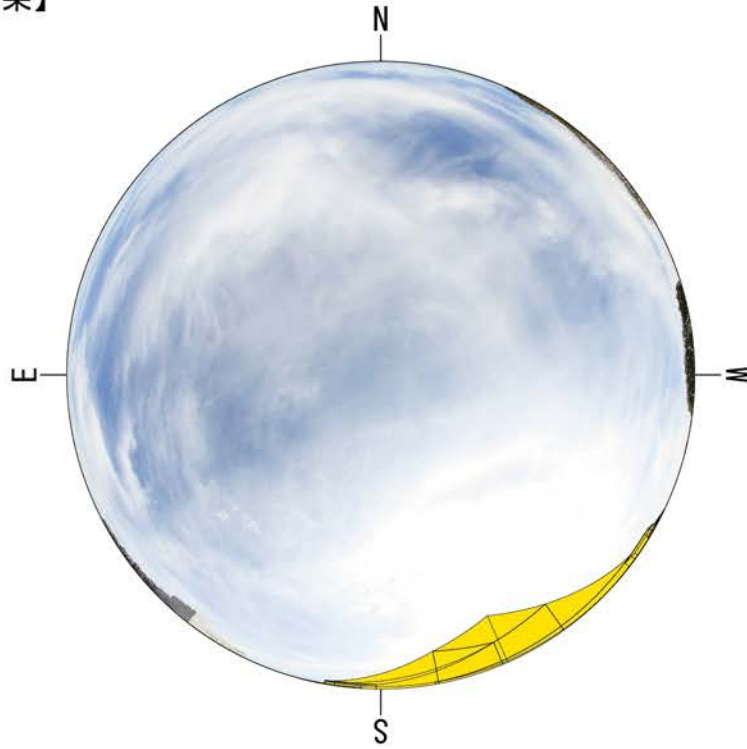
各地点ともに計画建築物が占める範囲は小さく、圧迫感はほとんどない。

各調査地点における形態率は表 7.6-4 に示すとおりである。事後調査結果形態率において、地点 6 は大幅に変化しているが、戸建住宅が建設されたためであり、計画建築物からの影響に変更はない。

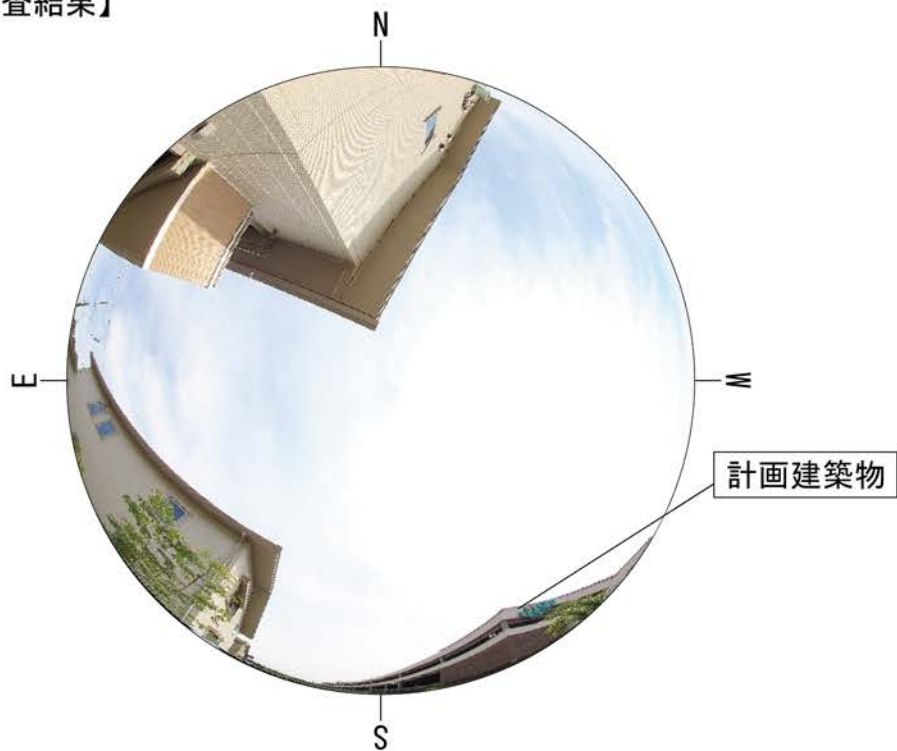
表 7.6-4 形態率

地点	予測結果		事後調査結果	
	全体	計画建築物のみ	全体	計画建築物のみ
地点 6	3.5%	3.0%	32.7%	3.0%
地点 7	15.5%	4.4%	15.5%	4.0%
地点 8	14.0%	13.8%	14.0%	13.8%


【予測結果】



【事後調査結果】



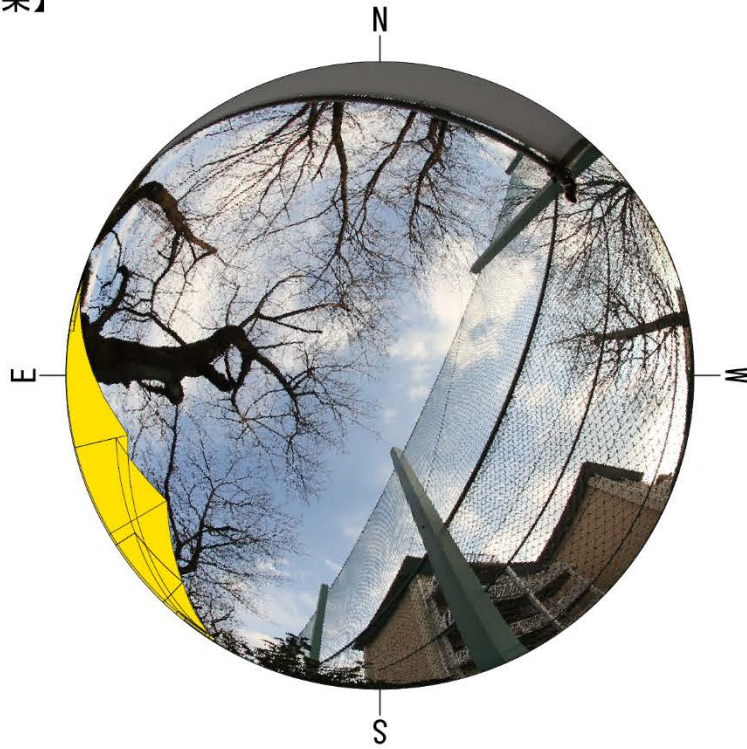
凡例

 : 計画建築物

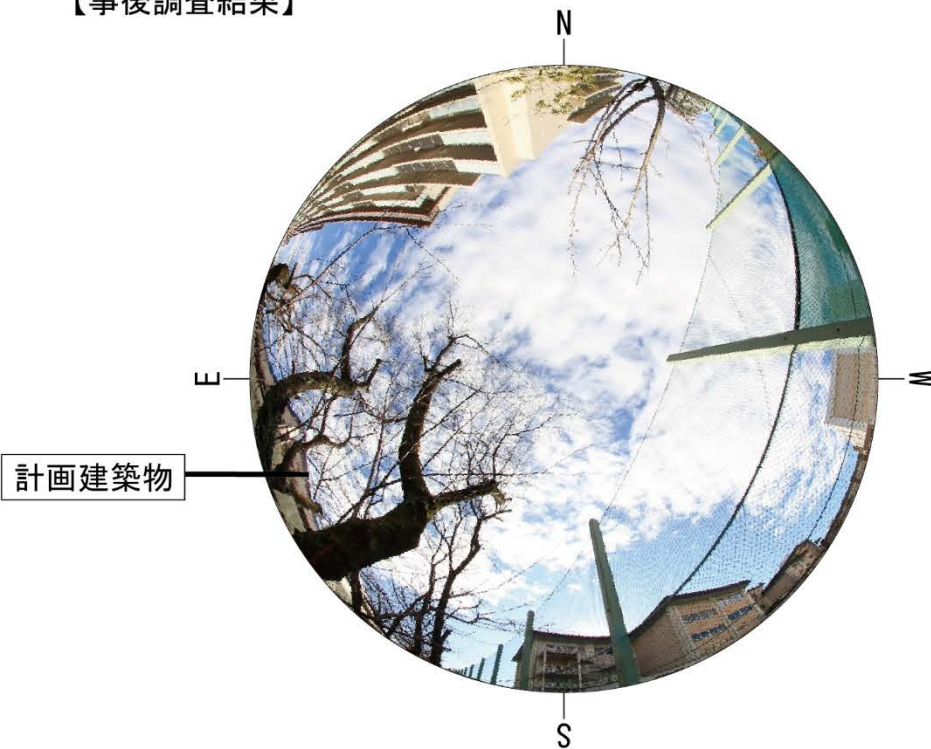
注 1. 天空写真は等立体角射影で撮影後、コンバータにより正射影へ変換して使用した。

写真 7.6-6 圧迫感の状況（計画地北東側（戸建住宅前）：地点 6）


【予測結果】



【事後調査結果】



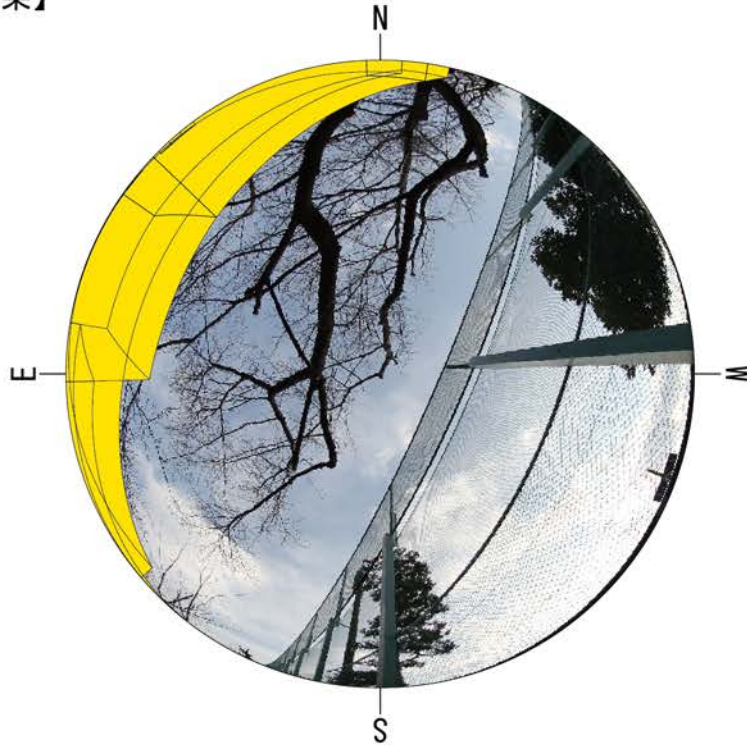
凡例

 : 計画建築物

- 注 1. 計画地周辺地域の樹林・植栽及び東浅川小学校のネット等は、形態率に含まない。
2. 天空写真は等立体角射影で撮影後、コンバータにより正射影へ変換して使用した。

写真 7.6-7 圧迫感の状況（計画地北西側（マンション前）：地点7）

【予測結果】



【事後調査結果】



凡例

 : 計画建築物

- 注 1. 計画地周辺地域の樹林・植栽及び東浅川小学校のネット等は、形態率に含まない。
2. 天空写真は等立体角射影で撮影後、コンバータにより正射影へ変換して使用した。

写真 7.6-8 圧迫感の状況（計画地西側（東浅川小学校側）：地点8）

イ 予測条件の状況

①計画建築物の状況（配置、高さ、形状、色彩、植栽の状況等）

計画建築物の状況は図 5.2-3～5（p.10～15）に示したとおりである。

ウ 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 6.6-1 に示したとおりである（p.31 参照）。

7.6.5 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 計画建築物の設置に伴う主要な景観構成要素の改変の程度及び地域景観の特性の変化の程度

緑地を計画地内、歩行者空間及び道路沿いに配置し、これにより、街路樹との連続性のある緑地空間を設け、オープンスペースを確保し、人が集う緑豊かで賑わいのある新しい都市景観が創出した。

また、計画建築物の形態・デザイン・色彩の選定に際しては、景観行政団体である八王子市と協議を行い決定した。色彩については、八王子市景観計画に適合した色彩を採用し、周辺との調和を図った。

以上のことから、事後調査結果と予測結果は概ね一致すると考えられる。

(2) 計画建築物の設置に伴う代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度

予測結果と事後調査結果の比較は、写真 7.6-1～5 に示すとおりである。

事後調査結果と予測結果は概ね一致すると考えられる。

(3) 計画建築物の存在による圧迫感の変化の程度

予測結果と事後調査結果の比較は、写真 7.6-6～8 に示すとおりである。

予測結果と事後調査結果の形態率の変化は、表 7.6-4 に示すとおりである。

地点 6 は戸建住宅が建設されたことにより形態率は予測結果を上回っているが、それ以外の各地点は予測結果と事後調査結果の差はほとんどなく、事後調査結果と予測結果は概ね一致すると考えられる。